

2004-05 Y・Yフォーラム 報告書

2005年2月27日(日) 姫路YMCA 太子キャンプ場

「森と道づくりからはじまる人づくり、村づくり」



開会式



ユースリーダー



ワーク



バーベキュー



交流会



記念写真

Y・Yフォーラムを計画・実施して

Y・Yフォーラム実行委員会

昨年度の Y・Y フォーラムは岡山YMCAとワイズが主管で街の落書きを消すという市民の皆さんも参加しての素晴らしい活動を展開されました。今年は姫路YMCAとワイズ(姫路・姫路グローバル)が主管となって姫路YMCAの太子キャンプ場で実施しました。計画段階ではあれこれと意見が出ましたが姫路ワイズメンズクラブが設立 50 周年記念事業として取り組んできた太子キャンプ場のキャビンの改築が完成・終了したこと、近年になって整備されてきたキャンプ場周辺のハイキングコースの整備をすることを合わせて考えた結果、太子キャンプ場で実施する事になりました。そしてその柱として①ワークを通して、さわやかな汗を流そう。②楽しい食事と交流の場を持つ。③地元の人も参加していただく。そして全体としてよき出会い、よき交わり、よき思いでづくりができたらの願いをもちて実施しました。当日は小曾の舞、寒い一日でしたが、参加ご協力いただいた皆様、陰で支えていただいた皆様、本当にありがとうございました。

Y・Yフォーラム

主催/Y'sメンズクラブ国際協会西日本区瀬戸山陸部
主催/姫路Y'sメンズクラブ、姫路グローバルY'sメンズクラブ、姫路YMCA

フォーラムを通して感じたYMCA活動

西日本区Yサ、ニュース事業主任 松岡 紀生

初めて姫路を訪ねさせて戴き楽しい体験が出来ました事を感謝致します。もう少し堅苦しい催しかと思いましたが、皆様軽装で私も行楽気分にならせて戴きました。80名程でリーダー、地域ボランティア、YMCA、ワイズが楽しそうに堅い登山を兼ねた林道の草刈り、バーベキュー、ゲームや楽しい語らいをさせて戴きました。これが本来のYMCA活動なのかと感じました。会員15名の姫路クラブは姫路グローバルクラブと手を取り合われクラブ設立50周年記念事業として5年以上かけて大変大きな事業を達成されました。傷んでいたキャンピンの修復を含めキャンプ場の整備を地域のご支援を得て継続され、昨年12月無事YMCAに献呈されました。

事業主任としてYYフォーラムの実施方法を思索しておりますがYとワイズの親睦交流を基本として更に具体的な目標を持って協同で汗をかいて実行する事ではないかと思えます。

ニュースの皆さんも元気一杯、将来のYMCAやワイズを担う人材ですから大切に育ててあげてください。

今、Yの為に何が問題で何をすべきかを真剣に考え実行されているのに大きな刺激を与えられました。どうか、姫路地区の皆様々のご活躍をお祈りします。

みんなでわいわい…

西日本区 YMCA・ワイズ・ニュース リエゾン専任委員 森本 榮三

木村会長様からお誘いを受け参加しました。当日は地域のボランティアの皆さんとお話しながら山を歩き、リーダーやコメントさん、メンバーの皆さんと共に「森と道づくりからはじまる人づくり、村づくり」に気持の良い汗をかかせて頂きました。BBQの時間に都内の懐かしい皆さんとお話させて頂き、本当に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。「みんなでわいわい…」の各パートが面白くて、あっという間に閉会の時間になっていました。

変わらぬ暖かさユース活動

西日本区Y3-WEST 橋崎 慎子

先日は、YYフォーラムに参加させて頂きましてありがとうございました。幼い頃から通った太子キャンプ場での活動を懐かしく思うと共に、姫路のYMCAや Y's Menの方々の変わらぬ暖かきを感じました。また同時に今回は、ユースとして参加させて頂いたので、各地のリーダーとの関わりが印象に残りました。参加されていたリーダーさんの中には卒業しても活動を続けたいと思っている人が多いと感じました。今後もユースの活動を通してYMCAや Y'sの暖かさを引き継いで行くようなお手伝いがしたいと思いました。

YYフォーラムに参加して

瀬戸山陰部 部長 森光 彰

先日2月27日のYYフォーラムはお疲れ様でした。

部を代表してYYフォーラムの企画、運営を担当されました姫路、姫路グローバルの皆様本当にお疲れ様でした。

今回のYYフォーラムは、今回より部の行事ということもあり、部内の全クラブの参加のもとワイズメンズクラブとYMCA、ユースリーダーとの協働という本来のYサ・ユース事業として、また姫路YMCA所有の太子キャンプ場の道の整備というYMCAをサポートする本来のワイズ活動としても、そしてまた地元ボランティアの参加も得て、地域奉仕事業としての意義も感じる大変素晴らしいYYフォーラムでした。80名という大勢の参加で道の整備も短時間で出来上がり、同じ時間を共有した連帯感と充実感はフォーラムならではのものではないでしょうか。大変寒い中ではありましたが、さわやかな爽れとその後の、バーベキューを頂きながら飲んだビールのは最高でした。姫路、姫路グローバルの皆様にご感謝申し上げます。

YYフォーラム感想

瀬戸山陰部Yサ、ユース・主査 加藤 俊行

2004/2005YYフォーラムが集会のうちに意義深く終了できましたことは、瀬戸山陰部として、また各クラブとして喜びと感謝を共にさせて頂き、有難いことです。

これひとえに姫路クラブ55年の伝統の力と、姫路グローバルクラブやYMCA及び地元の方々の協力による良い企画、周到な準備によるものと感謝し、また敬意を表します。

クラブとキャンプ場の発展を祈ります。

寒い中での熱いフォーラム

瀬戸山陰部 地域奉仕事業主管 三宅 敬

楽しい会でした！私は前日から出張で、当日は朝一番に東京を出て姫路に降り、太子に着いたのはちょうどバーベキューが始まる時でした。寒い日だったので、それで逆にバーベキューの賑わいを感じられました。みんな、焼きそば、焼肉、豚汁を楽しみました。そのごちそうと、大自然の中でのパーティという素晴らしい環境のおかげで、続いての各団体紹介やゲームなども楽しく過ごせました。

ワイズとYMCAの交流がメインの行事ですが、今回は地元のハイキンググループの皆さんとの交流も出来たことは、地域奉仕としても非常に有意義なことであったと思います。寒いなか、熱く素晴らしいフォーラムでした。

各地から集まったワイズ・YMCAの皆さん、西日本区からおいでいただいた森本さん、松岡Yサ主任、橋崎ユース代表など、ありがとうございます。準備してくださった姫路クラブ、姫路グローバルクラブ、姫路YMCAの皆さん、そしてハイキンググループの皆さん、本当にありがとうございました。

新しい里山づくり

広畑、大津、藤原まちづくりの会 代表 藤田 実

この夏の行事に参加されたワイズメンズの皆さんと京見山愛好家の皆さん有難うございました。

五十数年前の姫路YMCAは小園病院(北条口)の庭に二部態ほどの教室と事務室、米量払い下げのかまぼこ住宅をホールにした小さなものでした。私は高校教師の成り立てでしたが、戦後の混乱が少し落ち着きだし、新しい時代への希望が満ちた時代でした。

当時はこの京見山の近くに住んでいませんでしたので、どんな山であったか知りませんが、周辺の村の人は里山としていつも手入れをし、燃料・肥料、秋には松葉を採るなど豊かで親しみのある山であったようです。

燃料革命以後、里山は利用度が低くなり、手入れされることが少なくなりました。しかし、自然保護・健康登山・景観維持など自然との共生、つまり新しい里山づくりのため地主と一緒に地域住民の責務として継続的に取り組むべきだと思います。

楽しかったYYフォーラム

広畑、大津、藤原まちづくりの会 歴史道標の会 村西 康生

姫路路づくりに誘って頂き、参加できたことを喜んでおります。昨年休調を悪くして、今年からリハビリを始めようと思っていたところだったので、よい切っ掛けになりました。計画の説明を聞いてからは、少しずつ身体を慣らす事に専念しました。その甲斐があって、当日は何とか手強いが出来たので安心しています。普段は独りで他所の山路を整備しており、このたびのように沢山の人手と作業したのは大変楽しい事でした。わくわくBBQ・わいわいトークの雰囲気は、久しぶりの在職時代を思い出せる場所が多くあり、作業の疲れも吹っ飛びました。しかし、ジャンケンはなかなか勝てませんでした。当日参加された皆様の御多幸を祈りつつペンを書きます。

ハイキングコースをキャンププログラムに活用してください

広畑、大津、藤原まちづくりの会 森田 至宏

我々「広畑、大津、藤原まちづくりの会」が京見山の整備を始めてからもう4年が過ぎました。せっかくの裏山をもっとみんなに利用して貰えるようにしようと考え、細かい踏み跡を広くし、尾根筋の道のないところは切り開いて、主要コースの地図を作り、今はウィークデーでも10時頃の登場は10~20人もの人達が健脚を楽しみながら友好的雰囲気の中で情報交換をしています。

今回のフォーラムで整備した時から尾根筋の道も我々が切り開いたコースでした。

作業後の昼食は季節外れとは言えバーベキューは楽しく、また、若い人達のゲームにも参加出来、雰囲気にとけ込めて居た感じがしました。これからも機会があればお互いに交流ができればと思っています。

最近キャンプサイトの東斜面はあまり利用されていませんが、多くの皆さんで整備されたのですから、ハイキングに、あるいはトレッキングに積極的にキャンププログラムとして活用して欲しいと思うのと、できれば南の方向にも利用を促し、京見山の頂上にも足を延ばして欲しいと思っています。

YYフォーラムに参加して

太子ワイズメンズクラブ 連絡主事 三谷 信勝

2月27日姫路クラブ、姫路グローバルクラブ、姫路YMCA 主催の第2回瀬戸山陰部YYフォーラムに参加させていただいた。

参加案内を見た時には、トレイルづくりのワークと書かれてあったので、雪の中での過酷な労働になるのではないかという漠然とした不安を抱いていた。しかし、太子キャンプ場は姫路クラブの方々によってほとんど整備がなされており、わずかな手入れをすればよい状況を整えてくださっていた。運動をほとんどしない自分にとっては心地の良い、いわば、温かい空気の中でのハイキングになった。

約2時間歩き、山から降りると、すぐにバーベキューができるように準備ができていた。レクリエーションやスピーチ、火を開きながらの交流、久しぶりに大勢の人達とごやかな時間を過ごすことができた。終わった後で、参加して良かったなと思える余韻が残り、YYフォーラムの意義を感じた。

今回のYYフォーラムは、相当な事前準備がされたのではないだろうかという思いの中、木村会長をはじめ、様々な配慮をしてくださったスタッフの方々に感謝します。

有意義であったYYフォーラム

岡山ワイズメンズクラブ、岡山YMCA理事 北川 弘子

今期の瀬戸山陰部YYフォーラムは姫路クラブ、姫路Yのホストにより、「森と道づくりからはじまる人づくり、村づくり」のテーマで姫路Y太子キャンプ場で開催されました。

姫路Y太子キャンプ場のキャビンは姫路の中心部から程近く、高速道路からも入りやすいところに位置し、ハイキングコースや環境整備は地元「広畑、大津、勝原まちづくりの会」の方々が手入れをされています。しかしYMCAのキャビンは設備が老朽化し、使用に耐えない状態でしたが、姫路クラブが50周年記念事業として、5年間にわたり、クラブをあげて時間・労力・財を捧げて整備され、とても素人とは思えない立派な建物となり、この度完成していました。

このために要した費用数百万円は姫路クラブは勿論のこと、近隣のロータリークラブ、ライオンズクラブからもYMCAの青少年事業にたいするご理解をいただき、多額の献金をいただいたそうです。姫路クラブのメン、メネットが中心になり、奉仕延べ人数1000人以上が休日を返上して、整備作業に尽くされたそうです。ワイズならではのYサ奉仕でした。ご苦労様でした。

このような素晴らしい場所で開催されたYYフォーラムには森光瀬山陰部部長、松岡Yサ・ユース事業主任、森本YVL特別委員長、橋崎桐子国際ユース代表のほか部内全クラブ、YMCA、Yリーダー、地元まちづくりの会から約80名が参加されました。

本日のメインはキャンプ場周辺の散策路の整備作業でした。開会式のあと、年齢、体力に合わせて、3班の編成で「まちづくりの会」の方の指導により約2時間、散策路を歩きながら邪魔な草や小枝を刈りました。私(北川)には山歩きは無理なので、昼食の用意のお手伝いをいたしました。

作業が終わった後は、ホスト心尽くしの昼食、バーベキュー、豚汁、やきそば、おにぎりと盛り沢山でした。おながも落ち着いた頃、参加各地のリーダーによるゲーム、グループ紹介などワイズとYの楽しい交流が続き3時30分閉会いたしました。

地元の人巻き込んだ奉仕作業、交流を通しYMCA、ワイズの相互理解が深まった有意義なフォーラムでした。

嬉しかった他Yのユースリーダーとの交流

岡山YMCA 参加リーダー

今回、姫路で行われたYYフォーラムには私たち岡山の学生リーダー会から6名が参加しました。散策路づくりでは皆んな汗ばみながら、また時折見える大きな景色に感動しながら、とてもすがすがしい気分で作業に取り組みました。午後のバーベキューではワイズの方々や姫路、鳥取の学生リーダー達とたくさん交流することができました。特に途中のゲームでは、私たち岡山と同じようにがんばっている学生リーダーたちを見て、ああ、ここにも同じ仲間がいるんだなと、何だか嬉しい気持ちになりました。また、ワイズの方には、この太子キャンプ場への思い入れを聞かせてもらえたり、たくさんのお肉を頂いたりしました。どのワイズの方も握手する時の手の力が強かったのを感じています。

ここでの出会いや交流を通じて、今後の活動への大きな力をもらいました。またあえると嬉しいです。ありがとうございました。

2004/5年度 瀬戸山陰部 YYForumに参加して

姫路 グローバルワイズメンズクラブ 姫路Y理事長 山川 一郎

今回のForumは元々の意味である「公開討論会」ではなく、実際の活動を通してYY間の協働の在り方を学ぶという形で行なわれた。具体的には、姫路YMCA太子キャンプ場から近くのハイキング道までのTrail(けもの道、人の踏み固めた道)を整備するという活動だったが、これにより、ここを利用する青少年キャンパー達にとって大きな魅力が加えられたことは素晴らしい。瀬戸山陰部と今回の参加者の皆さん、ここに目をつけて下さった姫路クラブ、姫路グローバルクラブの皆さんに心から感謝申し上げたい。

さて、私自身「高齢者グループ(?)」の一員として、終始、下界の姫路クラブの皆さん改築になるキャビンの中で、数名の同グループの方々と共に、姫路クラブがここ6年間かけてこのキャンプ場のキャビンを改築して下さったご苦労を同クラブ篠原豊彦メン作成になるパワーポイントによって偲ばせて頂いた。改築の棟梁であった同メンから、淡々とご説明を頂いたが、春夏秋冬、極寒、猛暑、限られた人手の中でのご苦労に、YY間協力の原点を学ばせて頂いた。話題は、最近の山林の荒廃の漁業への悪影響のこと、このキャンプ場の元リーダーの中から、現在のYやYsを担う指導者が輩出されたこと等々に及んだ。足腰は弱ったが、口は益々盛んなこのグループはこうしてそれなりに活動参加させて頂いたのであった。その後バーベキューを楽しませて頂いたことは言うまでもない。